

育苗時に注意が必要な点をまとめました！



<種子休眠について>

- ・昨年度産の種子は、登熟期の**高温**により、**休眠が深い**可能性があります！（ヒノヒカリは特に注意）
- ・**浸種時の水温10℃以下**では二次休眠を誘発するため、10℃以下にならないような管理をしてください。
 <例> 浸種を日当たりに良い場所で行う
- ・例年の浸種日数では、鳩胸までならない可能性があります。
浸種後のハトムネ確認を徹底してください！

<苗立枯病について>

(多発条件)

密植・高温・多湿条件下や傷粃の混入が多いと多発します

(特徴的な症状：病原菌によって症状が変わってきます)

- ・フザリウム属菌 … 地際に白～紅色の糸状菌がみられる
- ・ピシウム属菌 … ムレ苗のような症状
 地際にカビがみられない
- ・リゾープス属菌 … 培土表面が白色の菌糸に覆われる
- ・トリコデルマ属菌… 青緑色のカビがみられる

(対策農薬：病原菌にあった農薬の散布を行ってください)

病原菌名		苗立枯病			
		フザリウム	ピシウム	リゾープス	トリコデルマ
対象農薬	タチガレン(液剤・粉剤)	○	○		
	タチガレエースM(液剤・粉剤)	○	○		
	ダコニール1000			○	
	ダコレート(水和剤)	○		○	○

※上記の病原菌は一例です。他にも苗立枯病の菌はあるので、注意が必要です



豊肥振興局HP
からカラーで見
れます！

大分県農業協同組合豊肥営農経済センター 営農部 農産課 63-4994
 大分県豊肥振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化第二班 63-1301